



三八ニュース!

発行日：2019年 2月19日

発行責任者： 小野武司

発行者： 鈴木パティ

三八地協 第7号

連合青森三八地協第30回定期総会

2018年11月10日(日)に三八地方労働福祉会館に於いて定期総会が開催されました。向こう一年の組織拡大や労働条件の底上げ、政策実現に向けた政治活動の強化などを盛り込んだ2018～2019年度の運動方針補強(案)が承認となりました。また、連合青森内村会長からは、挨拶のなかで地元企業の人手不足や若者の離職などの課題に触れ、「労使で知恵を出し合い魅力ある職場を作ることが重要」と触れました。「すべての働く者のために、『働くことを軸とする安心社会』の実現に向け全力で取り組む」等の総会アピールを採択した。出席者は、来賓に小林市長はじめ、田名部匡代参議院議員、山名文世組織内議員などが出席され、また、代議員総数68名中、出席代議員数50名(委任状18名)幹事会役員総数23名中、出席役員総数17名(欠席6名)など75名の参加者で行われました。



連合青森三八地協 2019 新春旗開き

2019年1月27日(日)16時より八戸パークホテルに於いて旗開きを行いました。連合青森で要求する2019春季生活闘争方針の月額11,000円程度の賃上げ達成に向け、結束を強めました。小野議長からは「春季生活闘争を通じた労働条件の改善や、労働者目線の施策拡充といった課題をはじめ、さまざまな目標達成に向け猛進していこう。」との挨拶がありました。また来賓には、松尾三戸町長、経営者連盟吉田会長、田名部匡代参議院議員はじめ連合青森組織内議員、連合青森推薦議員の皆様が出席していただきました。 **参加人数 40単組 178名**

連合 2019 春季生活闘争について

「人的投資の促進」「ディーセントワークの実現」「包摂的社会的構築」「経済の自立的成長」をめざす!

今年の春闘は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争である。日本はすでに超少子高齢化・人口減少社会に突入しており、とりわけ生産年齢人口の減少が相対的に大きいため労働力不足が継続的かつ不可避かつ継続的になっている。このような状況にあっても将来にわたって持続可能な社会を実現していくためには、すべての働く労働者条件の改善をはかり、働く者のモチベーションを維持・向上させていかなければならない。

取組課題 【2019 年度重点項目】（※抜粋）

○雇用形態間格差の是正

（時間給の引き上げ）

- ・高卒初任給等との均等待遇を重視し、時給 1,050 円を確保する。
- ・既に時給 1,050 円の場合は、正社員と均等待遇の観点から改善を求める。
- ・単組が取り組む地域ごとの水準については 910 円（連合県別リビンゲウェイジ算出）を上回る水準を目指す。
- ・昇給ルールの導入・明確化の取組の強化。
- ・有期契約労働者に対する無期転換ルールの周知。等

【連合青森の賃上げ目標】

★賃金カーブの算定が困難な場合・（定昇制度が確立していない場合） 11,000 円程度（5.0%程度）、賃金カーブの維持確保相当分 4,400 円+4,400 円程度（賃上げ分）+2,200 円（格差是正分）

★賃金カーブの算定が可能な場合・賃金カーブの維持+4,400 円程度（賃上げ分）+2,200 円（格差是正分）

11,000 円の要求組立は、
2018 年連合青森構成組織賃金実態調査による全産業地域ミニマム男女計の平均賃金 221,810 円より算出

初任給の要求目標 18 歳高卒初任給（東北 6 県）は 2018 男女平均初任給 152,600 円水準に到達目標とする。



「いつでもどこでも」
ATM手数料
実質0円!
ろうきんで
Web事前審査が便利 東北ろうきん 検索



手頃な掛金でしっかり安心
マイカー共済
自動車総合補償共済
全労済だけの
最大22%優待
掛金64%割引!